

平成 26 年度大学院理学専攻（修士課程）修了予定者アンケート

以下、平成 27 年 2 月に理学専攻修了予定者に対して実施した、大学院での学習環境全般に関するアンケート結果を示す。平成 26 年度修了予定者は 53 名で、そのうち 46 名から回答が得られ、アンケートの回収率は 87%であった。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析と今後の教育へのフィードバック

【アンケート結果概要】

まず、大学院での研究や生活で満足できたものとして「研究室での研究やゼミ」という回答が 89%と最も高く、次いで「先生との出会い」が 76%、「修士論文」が 61%であった。「友人との出会い」と回答した人が 50%、「授業」と回答した人が 26%となり、これらは昨年よりも数値がさがった。

逆に満足できなかったものとしては「課外活動」が 22%、「修士論文」が 11%であった。昨年度は「修士論文」と答えた学生が 28%であったのでだいぶ数値は下がった。

また「授業」については 6%となっており昨年の数値と同程度になった。

次に大学院における授業に関する質問で「満足できる」または「満足できる授業が多かった」と回答した学生は 91%であり、昨年度より少し数値がさがった。しかし、大部分の学生は満足感をもっているようである。

教育研究施設（学習環境）について、肯定的意見は 96%であり、昨年度とおなじであった。

就職支援活動については、肯定的意見は全体の 81%であり、昨年度より大きく上がった。しかし就職支援活動に関しては肯定的な意見と否定的な意見が見られた。

またボランティア活動の参加についてきいたところ、93%の学生が活動したことがないと答えており、昨年度に比べ数値が増えた。やはり研究に専念する必要からボランティア活動に割く時間がないと思われる。その一方でボランティア活動をした学生にその満足度を聞いたところ全員が「満足」、もしくは「ほぼ満足」と答えており、昨年度と同様の結果が得られた。実際に活動した学生にとっての満足度は高いことがわかる。

今年度からアンケートの質問項目に、「総合的に考えて、理学専攻（修士課程）で学んでよかったと思いますか。」という質問項目を追加した。これについては「とてもよかった」「おおむねよかった」という肯定的意見が 98%であった。修了予定者にとって理学専攻で学んだことに対する満足度は高いことがうかがえる。

最後に教育全般に関する自由意見を聞いてみたところ、いくつか意見が出た。

【総括】

昨年度のアンケートの結果を見て少々気になったのが、就職支援活動についてであったが、就職活動の支援について肯定的意見が大幅にアップした。今後も就職支援活動に力を入れることは大切なことと思う。また教育全般に関する自由意見では分野特有の色々な意見があり、だされた意見を参考に必要があれば今後も各分野で対応を検討すべきであろう。

II. 集計結果

1. あなたの所属する分野を下記より選んでください。

- A. 数学 B. 物理科学 C. 生物科学
 D. 地球科学 E. 情報科学 F. 応用化学
 G. 海洋生命・分子工学 H. 災害科学
 I. 連携分野（植物分類・地理学） J. 連携分野（海底資源科学）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	11	6	5	8	5	9	6	3	-	-	53
回収件数	11	4	4	6	3	9	6	3	-	-	46
回収率(%)	100	67	80	75	60	100	100	100	-	-	87

2. 大学院での研究や生活で満足できたものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ
 D. 先生との出会い E. 友人との出会い F. 課外活動
 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数学	8	3	9	10	4	1	0
物理科学	1	1	2	2	0	0	0
生物科学	4	1	4	4	1	0	0
地球科学	3	1	5	6	6	2	0
情報科学	2	1	3	3	3	1	0
応用化学	6	2	9	4	3	0	0
海洋生命・分子工学	3	1	6	4	4	1	0
災害科学	1	2	3	2	2	1	0
植物分類・地理学	-	-	-	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-	-	-	-
合計	28	12	41	35	23	6	0
合計 (%)	61	26	89	76	50	13	0

3. 大学院での研究や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 修士論文 B. 授業 C. 研究室での研究やゼミ
 D. 先生とのトラブル E. 友人とのトラブル F. 課外活動
 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数学	1	2	0	0	1	1	1
物理科学	1	0	1	0	1	2	0
生物科学	0	1	0	0	0	0	0
地球科学	1	0	1	1	1	0	0
情報科学	0	0	0	0	0	2	0
応用化学	1	0	0	1	0	3	0
海洋生命・分子工学	1	0	0	0	0	2	2
災害科学	0	0	0	0	0	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-	-	-	-
合計	5	3	2	2	3	10	3
合計 (%)	11	6	4	4	6	22	6

○数学

・時間を有効に使えなかった。

4. 大学院の授業は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. 満足できる授業が多かった

C. 満足できる授業が少なかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	7	2	1	1
物理科学	2	2	0	0
生物科学	1	2	1	0
地球科学	3	3	0	0
情報科学	1	2	0	0
応用化学	5	3	1	0
海洋生命・分子工学	4	2	0	0
災害科学	2	1	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	25	17	3	1
合計 (%)	54	37	6	2

○数学

なし。(選択肢が少なすぎるかな?)

○物理科学

・自身の分野以外の授業を受講することにより視野が広がりました。

○地球科学

・学会に、あまり費用を気にせず参加したかったです。

・先生によって、授業に対するモチベーションに差がありすぎる。

○応用化学

・自分の知識の幅を広げる事が出来たと思います。

○海洋生命・分子工学

・もう少し関係ある授業があれば良かった。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. ほぼ満足できた

C. あまり満足できなかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	5	6	0	0
物理科学	1	3	0	0
生物科学	1	2	1	0
地球科学	3	3	0	0
情報科学	1	2	0	0
応用化学	5	4	0	0
海洋生命・分子工学	3	2	1	0
災害科学	2	1	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	21	23	2	0
合計 (%)	46	50	4	0

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

A. 満足できた

B. ほぼ満足できた

C. あまり満足できなかった

D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	6	2	1	0
物理科学	2	2	0	0
生物科学	1	2	0	0
地球科学	2	2	1	1
情報科学	3	0	0	0
応用化学	3	6	0	0
海洋生命・分子工学	3	1	1	1

災害科学	1	1	1	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	21	16	4	2
合計 (%)	46	35	9	4

○数学

- ・就職室の人に相談できて良かった。

○物理科学

- ・指導教員から就職活動に必要な時間をいただきました。

○地球科学

- ・セミナー等かなり充実していた。
- ・全体的にみると良いのかもしれませんがあまりにもひどい態度をとられたので、それ以降利用していません。また、面接練習もアテになりません。専門職に対応できる人いないですやん。

○応用化学

- ・セミナーのみ参加しましたが、色々と参考にする事はありました。

○海洋生命・分子工学

- ・就職活動はほとんどしていません。

7. 大学院在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

- A. ある B. ない

	A	B
数学	0	11
物理科学	0	4
生物科学	0	4
地球科学	1	5
情報科学	0	3
応用化学	2	7
海洋生命・分子工学	0	6
災害科学	0	3
植物分類・地理学	-	-
海底資源科学	-	-
合計	3	43
合計 (%)	7	93

8. 7で「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数学	0	0	0	0
物理科学	0	0	0	0
生物科学	0	0	0	0
地球科学	1	0	0	0
情報科学	0	0	0	0
応用化学	1	1	0	0
海洋生命・分子工学	0	0	0	0
災害科学	0	0	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	2	1	0	0
合計 (%)	67	33	0	0

9. 総合的に考えて、理学専攻（修士課程）で学んでよかったと思いますか。

- A. とてもよかったと思う B. おおむねよかったと思う
C. あまりよかったと思わない D. よかったと思わない

	A	B	C	D
数学	10	1	0	0
物理科学	1	3	0	0
生物科学	3	1	0	0
地球科学	2	3	1	0
情報科学	3	0	0	0
応用化学	4	5	0	0
海洋生命・分子工学	4	2	0	0
災害科学	3	0	0	0
植物分類・地理学	-	-	-	-
海底資源科学	-	-	-	-
合計	30	15	1	0
合計 (%)	65	33	2	0

10. 理学専攻（修士課程）の教育研究全般について、意見があれば書いてください。

○数学

・大学院の授業が少ないです。もっと色々な数学の分野の開講して欲しいです。

○物理科学

・2年間、最先端の研究に携わる機会を与えていただきありがとうございました。数多くのご指導をいただき、充実した研究生生活を過ごせました。

○生物科学

・特にありません。満足です。

○地球科学

・修士課程であれば、英会話（日常会話レベル）の必須化がこれからは必要だと思う。

・就職室について、全体的に見直した方が良いと思います。本当にあれが就職を担当する人の態度か、と学生の自分ですら感じています。本当にひどくて衝撃的でした。それ以降利用する気すらおきませんでした。あと、面接練習について、理系専門職に対応できる人を何人かおくべきです。一度面接練習で“専門職については君の方が知っているでしょ”と、言われて失望しました。本当に利用するだけ無駄でした。